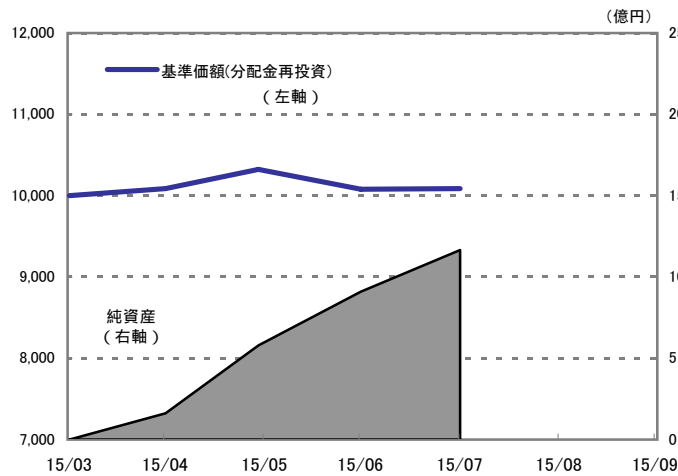


運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 10,084 円

※分配金控除後

純資産総額 11.7億円

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則 12月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)
初回決算日は2015年12月7日

騰落率

期間	ファンド
1カ月	0.0%
3カ月	-0.0%
6カ月	-
1年	-
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

期間	分配金
15/03	-
15/04	-
15/05	-
15/06	-
15/07	-

設定来 0.8%

設定来累計 0 円

設定来=2015年4月1日 以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

投資信託組入配分

2015年7月31日 現在

投資信託	運用会社	純資産比
野村エマージング債券ファンドFD	野村アセットマネジメント	98.3%
コール・その他※	-	1.7%
合計		100.0%

※野村マネー マザーファンドはコール・その他に含まれます。

新興国債券に実質的に投資する投資信託の資産内容

2015年6月30日 現在

ポートフォリオ特性値	
平均格付	BB
平均直利	6.5%
平均最終利回り	5.3%
平均デュレーション	6.6年

・上記のポートフォリオ特性値は、各組入投資信託(現金を含む)の特性値(直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです。現地通貨建。また、格付の場合は、現金を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

国・地域別配分	
国・地域	純資産比
メキシコ	10.9%
ロシア	8.2%
トルコ	8.1%
ブラジル	7.0%
インドネシア	7.0%
その他の国・地域	42.6%
その他の資産	8.5%
合計※	-

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

通貨別配分	
通貨	純資産比
米ドル	95.6%
日本円	2.4%
メキシコ・ペソ	1.3%
ブラジル・レアル	1.0%
コロンビア・ペソ	0.7%
その他の通貨	-0.9%
合計	100.0%

格付別配分	
格付	構成比
AAA	0.0%
AA	0.4%
A	8.5%
BBB	50.4%
BB	24.9%
B	8.3%
CCC以下	5.2%
無格付	2.3%
合計	100.0%

・格付は各運用会社で採用している格付に基づき作成しております。構成するポートフォリオを100%として表示しております。

・野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーが各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。運用会社によっては、データの分類方法や評価基準日の一部が異なる場合があるため、概算値となりますのでご注意ください。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンドの純資産総額に年0.5184%(税抜年0.48%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じたかかります。</p> <p>○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.3284%程度(税込)</p> <p>*ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬率を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。</p>
その他の費用・手数料	<p>組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。</p> <p>※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>
信託財産留保額 (ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> **野村アセットマネジメント株式会社**
[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> **野村信託銀行株式会社**
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員

一般社団法人日本投資顧問業協会会員

注)野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーによるコメント

先月の投資環境

○新興国債券は、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(円換算ベース)で見ると、+0.65%(注1)となりました。

○新興国債券市場：6月の米住宅着工件数が市場予想を上回ったことなどから上昇する場面もありましたが、中国の株式市場が経済成長への懸念を背景に大幅に下落したことや、原油価格を中心に商品価格が下落したことなどから軟調に推移し、月間では値下がりました(米ドルベース)。

○為替市場：米ドルは、6月の米中古住宅販売件数が市場予想を上回ったことなどから堅調に推移し、月間で円に対して上昇しました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間のファンドの騰落率は、実質的に保有する指定投資信託証券(注2)において、米ドルが円に対して上昇したことなどから、+0.02%となりました。

○新興国債券に実質的に投資する指定投資信託証券のフルインベストメント(高位組入)を維持しました。

今後の運用方針(2015年7月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○新興国債券に実質的に投資する指定投資信託証券(注2)を高位に組み入れます。

○新興国のファンダメンタルズ(基礎的条件)は、相対的に堅調な経済成長、改善傾向にある財政バランス、健全な水準にある対外債務返済能力などを背景に、長期的には良好な状況が継続する見通しです。また、先進国経済には全般的に持ち直す動きが見られますが、欧州諸国の経済・財政面での脆弱性は払拭されず、世界経済の回復力は十分とはいえない状況が続いています。また、相対的に良好な米国の景気動向を背景にFRB(米連邦準備制度理事会)は慎重ながらも金利政策正常化のタイミングを見定めようとするなか、中国経済やギリシャ問題の動向、ウクライナや中東地域などの地政学的問題、さらには対ロシア制裁や原油価格低迷の経済的影響に対する懸念もあり、新興国債券市場はやや変動性が高い状況となっています。

○ギリシャ債務問題については、新興国経済への直接的影響は限られるとともに、状況に応じてECB(欧州中央銀行)の踏み込んだ対応が見込まれることなどから、新興国債券市場への影響は限定的とみていますが、短期的には市場の変動性を一段と高める要因であり、事態の急変や他国への影響など注意深く推移を見守っています。

○上記の市場環境に対する認識の下、リスクを管理し、ファンダメンタルズを重視したポートフォリオ運用を行ないます。世界経済や市場の不安定性に抵抗力を有する国を中心に配分する一方、市場の変動性の高まりから、市場価格が発行体のファンダメンタルズからかい離し、バリュエーション(投資価値評価)面から割安であると判断した債券に対する投資機会を探る方針です。また、バリュエーション上、割安である準ソブリン債や社債の投資機会を探るとともに、現地通貨のリスクを慎重に管理する一方、現地通貨建て債券については、一部市場では金利の低下が見込まれ、有効な投資機会を提供するものと見ています。

(注1)当ファンドはベンチマークはありません。ご参考までに市場の動向をみるために掲載している騰落率は、当ファンドの騰落率計算のタイミングと合わせるため、前月の最終営業日の前々営業日から当月の最終営業日の前々営業日までについて計測しています。

(注2)当ファンドにおける指定投資信託証券は、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。